

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 51 週（12月16日～12月22日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3 人	類型 血清型
			無症状病原体保有者 3 人 O157 1 人、O115 1 人、 不明 1 人
四類感染症	レジオネラ症	4 人	病型
			肺炎型 4 人
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人	病型
			腸管アメーバ症
	ウイルス性肝炎	1 人	病型
			B 型
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種
			<i>Enterobacter</i> sp.
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人	血清群
			A 群 1 人、B 群 1 人
	後天性免疫不全症候群	1 人	病型
			無症状病原体保有者
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	4 人	
	梅毒	15 人	病型
			早期顕症Ⅰ期 7 人、 早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 4 人
	百日咳	3 人	年齢階級
			2 歳 1 人、9 歳 1 人、 10 歳代 1 人

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症（4.06→6.46：図1）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、特に幸手（6.29→12.29）、熊谷（5.31→11.23）保健所管内で大きく増加し、坂戸（11.50）保健所管内からの報告も多い。基幹定点における入院患者の報告は69人（前週51人）であった。インフルエンザ（19.61→51.06：図2-1～4）の定点当たり報告数は、前週と比較して急激に増加し、警報レベル開始基準値である30.00を大きく上回った。保健所別では、川口市（69.40）、南部（68.13）、幸手（67.86）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、14歳以下の患者が全体の約57%であった。また、基幹定点報告疾患のインフルエンザ（入院）（25→44→89人：図2-4）は2週連続で大きく増加し、60歳以上の報告が全体の約62%であった。伝染性紅斑（3.77→3.71：図3-1,2）の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、非常に多い状況が続いている。保健所別では、南部（9.80）保健所管内からの報告が特に多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎12人、流行性角結膜炎37人の報告があった。基幹定点報告疾患のマイコプラズマ肺炎は21人（前週35人）の報告があった。

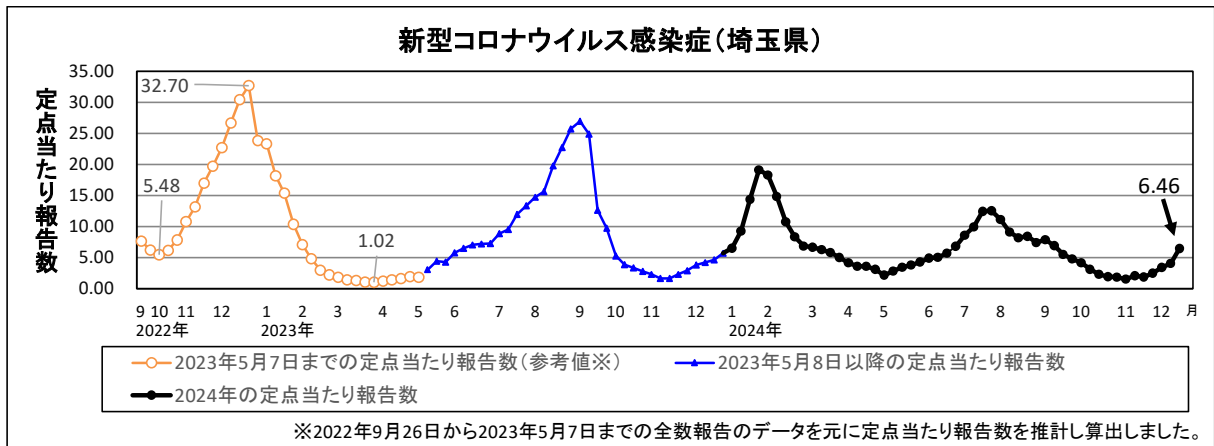
＜定点医療機関へお願い＞

2024年第52週（12月23日～12月29日）分及び2025年第1週（12月30日～1月5日）分については、適宜、速やかにご報告いただくようご協力お願いいたします。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第51週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第51週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

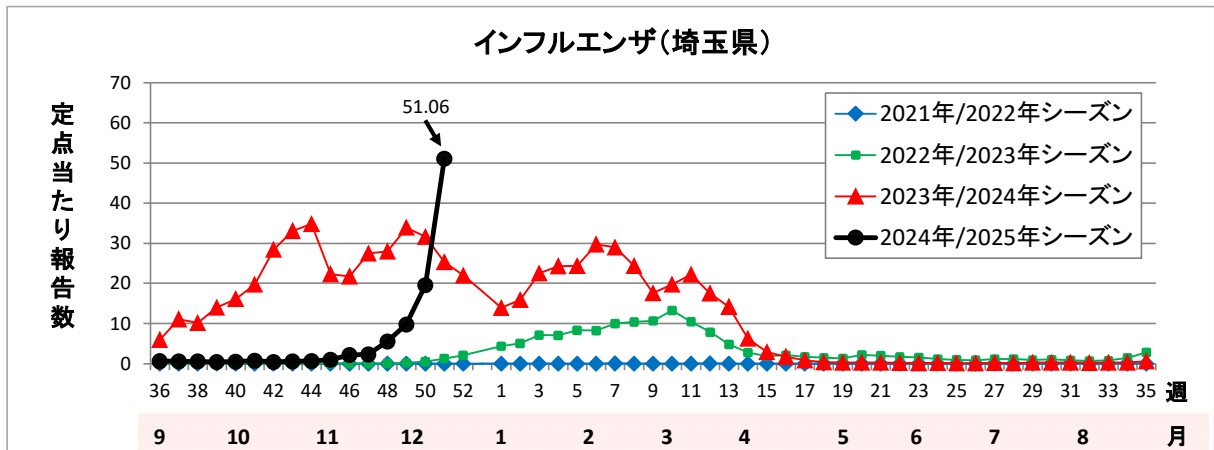
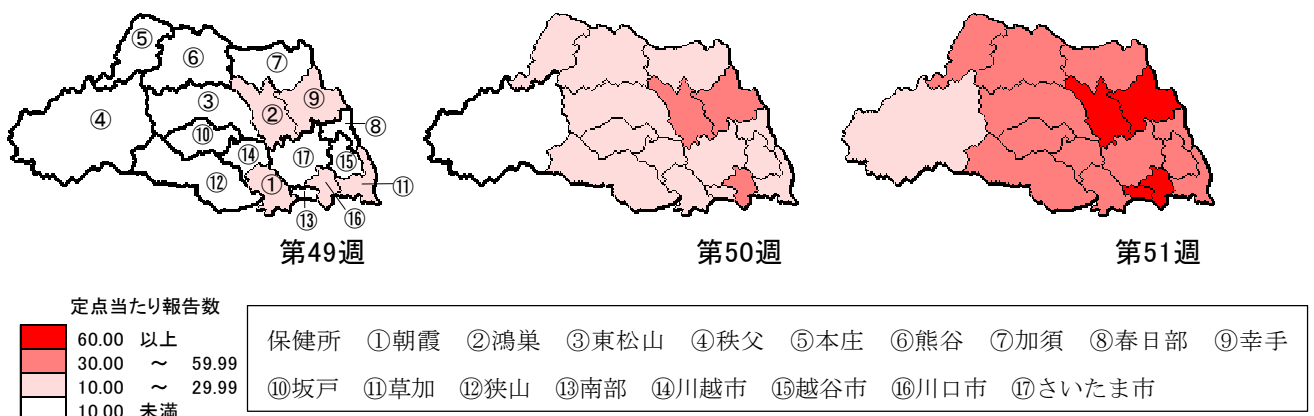


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第49週～第51週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

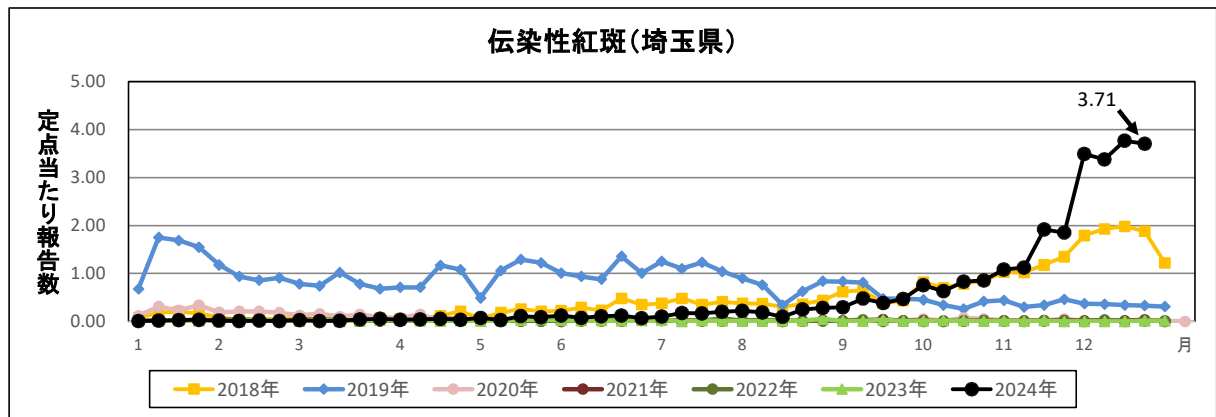
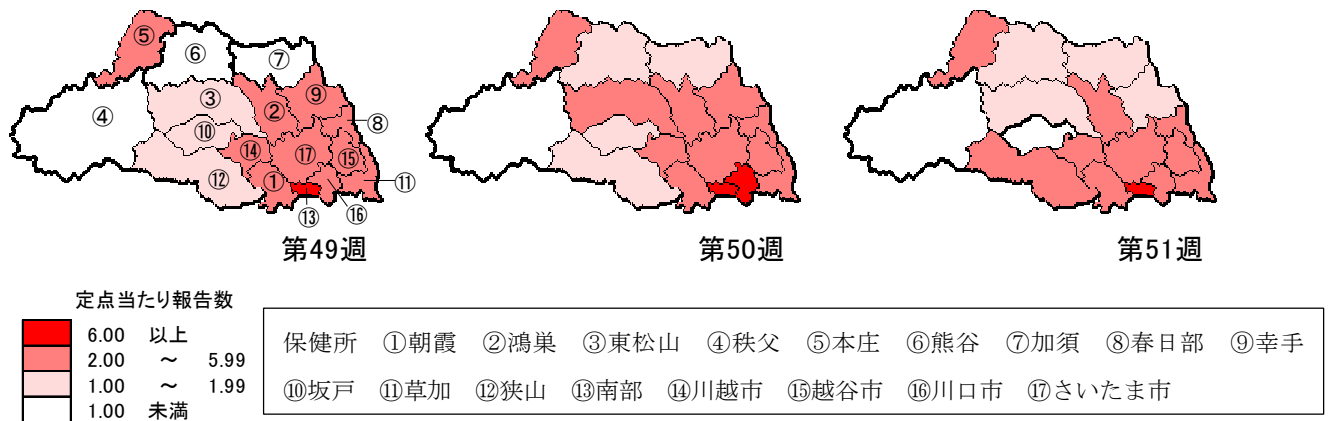


図 3-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024年第49週~第51週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第51週)

(2024年12月24日 16:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	180			
四類感染症					
E型肝炎		38	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	4	137
つつが虫病		3	レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	25	侵襲性肺炎球菌感染症	4	97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	17	水痘(入院例に限る)		5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	103	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	15	461
急性脳炎		27	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	33	百日咳	3	166
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	27	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第51週

12月16日~12月22日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)	
		#1	感染症	感染症												#2		#3					
全 県	報告数 13,326	1,687	67	96	444	972	71	183	608	30	2	10	12	37	-	-	21	-	-	-	-	89	69
	51.06	6.46	0.41	0.59	2.71	5.93	0.43	1.12	3.71	0.18	0.01	0.06	0.29	0.88	-	-	1.75	-	-	-	-	7.42	5.75
朝 霞	報告数 1,358	148	6	4	63	128	11	16	48	4	-	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	15	7
	59.04	6.43	0.40	0.27	4.20	8.53	0.73	1.07	3.20	0.27	-	-	-	0.50	-	-	3.00	-	-	-	-	15.00	7.00
鴻 巣	報告数 1,149	116	4	8	38	51	1	18	45	2	-	1	-	5	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	60.47	6.11	0.33	0.67	3.17	4.25	0.08	1.50	3.75	0.17	-	0.08	-	1.67	*	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 348	27	1	-	9	44	-	4	6	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2
	43.50	3.38	0.20	-	1.80	8.80	-	0.80	1.20	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	2.00
秩 父	報告数 118	41	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	3
	23.60	8.20	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00	3.00
本 庄	報告数 307	37	-	1	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1
	43.86	5.29	-	0.25	-	-	0.50	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	1.00
熊 谷	報告数 724	146	1	4	14	33	3	10	10	4	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	10	4
	55.69	11.23	0.13	0.50	1.75	4.13	0.38	1.25	1.25	0.50	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	10.00	4.00
加 須	報告数 424	64	2	-	2	6	-	13	9	1	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	6	2
	42.40	6.40	0.33	-	0.33	1.00	-	2.17	1.50	0.17	-	-	-	3.00	-	-	1.00	-	-	-	-	6.00	2.00
春 日 部	報告数 458	73	2	16	31	30	1	8	27	1	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	45.80	7.30	0.33	2.67	5.17	5.00	0.17	1.33	4.50	0.17	-	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 950	172	17	21	12	29	1	13	15	1	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	67.86	12.29	1.89	2.33	1.33	3.22	0.11	1.44	1.67	0.11	-	0.11	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 396	115	-	3	6	29	-	12	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
	39.60	11.50	-	0.50	1.00	4.83	-	2.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.00
草 加	報告数 1,082	156	6	7	24	98	7	14	57	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	56.95	8.21	0.50	0.58	2.00	8.17	0.58	1.17	4.75	0.08	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 1,259	188	5	3	80	47	13	9	41	2	-	1	12	1	-	-	2	-	-	-	-	8	3
	50.36	7.52	0.31	0.19	5.00	2.94	0.81	0.56	2.56	0.13	-	0.06	2.40	0.20	-	-	2.00	-	-	-	-	8.00	3.00
南 部	報告数 545	51	5	11	42	57	2	15	49	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	7	7
	68.13	6.38	1.00	2.20	8.40	11.40	0.40	3.00	9.80	0.20	0.20	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	7.00	7.00
川 越 市	報告数 687	62	-	8	20	23	12	3	39	1	-	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	49.07	4.43	-	1.00	2.50	2.88	1.50	0.38	4.88	0.13	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 729	87	3	1	9	29	2	3	26	-	-	-	-	3	-	-	9	-	-	-	-	6	6
	56.08	6.69	0.38	0.13	1.13	3.63	0.25	0.38	3.25	-	-	-	-	1.50	-	-	9.00	-	-	-	-	6.00	6.00
川 口 市	報告数 1,388	74	4	4	28	166	2	17	76	2	-	1	-	6	-	-	2	-	-	-	-	13	4
	69.40	3.70	0.31	0.31	2.15	12.77	0.15	1.31	5.85	0.15	-	0.08	-	1.50	-	-	2.00	-	-	-	-	13.00	4.00
さいたま市	報告数 1,404	130	11	5	61	202	14	28	150	7	1	3	-	8	-	-	3	-	-	-	-	16	8
	32.65	3.02	0.39	0.18	2.18	7.21	0.50	1.00	5.36	0.25	0.04	0.11	-	0.89	-	-	3.00	-	-	-	-	16.00	8.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

12月

24日

13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数		年齢別																			
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~		
インフルエンザ #1	13,326	39	97	278	341	380	458	489	583	643	707	674	2,886	1,134	792	826	1,153	1,044	416	233	153	
新型コロナウイルス感染症	1,687	11	14	25	24	15	10	10	5	16	11	11	125	96	161	187	215	245	159	185	162	
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~								
RSウイルス感染症	67	10	15	19	7	5	6	2	1	-	1	-	1	-	-							
咽頭結膜熱	96	-	2	19	8	13	14	5	6	7	7	7	6	-	2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	444	-	1	12	23	28	45	48	56	47	50	36	78	8	12							
感染性胃腸炎	972	13	34	97	110	91	95	90	83	64	75	46	120	16	38							
水痘	71	1	2	1	1	-	3	5	7	11	6	15	19	-	-							
手足口病	183	1	6	25	21	23	39	18	19	10	6	8	4	1	2							
伝染性紅斑	608	-	1	24	30	53	97	108	98	68	60	33	31	-	5							
突発性発しん	30	1	3	17	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	-	1	1	2	2	-	1	2	1	-	-							
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~			
急性出血性結膜炎	12	-	-	-	-	1	-	2	-	-	3	1	1	-	1	3	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	37	-	-	-	1	-	1	1	2	2	-	-	1	2	3	6	9	4	2	3		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	21	-	2	8	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	89	7	10	5	3	2	1	-	1	-	1	1	3	-	7	8	40					
新型コロナウイルス感染症(入院)	69	2	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	2	4	3	2	52					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第49週 (12月2日～12月8日)

令和6年12月25日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福岡県(20.30)、大分県(13.41)、千葉県(13.23)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は620例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(21例)、1～9歳(147例)、10代(41例)、20代(10例)、30代(12例)、40代(17例)、50代(32例)、60代(50例)、70代(122例)、80歳以上(168例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(9.31)、北海道(9.27)、岩手県(8.21)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,658例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(21例)、1～9歳(23例)、10代(11例)、20代(14例)、30代(19例)、40代(29例)、50代(81例)、60代(160例)、70代(424例)、80歳以上(876例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(1.23)、大阪府(0.83)、奈良県(0.81)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(1.03)、福島県(0.96)、山形県(0.93)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(5.10)、福岡県(4.95)、宮崎県(4.94)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(9.86)、宮崎県(8.06)、福井県(7.92)である。手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(5.73)、岩手県(4.75)、山形県(4.14)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(3.38)、東京都(3.00)、青森県(2.43)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は徳島県(0.43)、新潟県(0.24)、福井県(0.20)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は千葉県(0.09)、佐賀県(0.09)、神奈川県(0.07)、富山県(0.07)、静岡県(0.07)である。

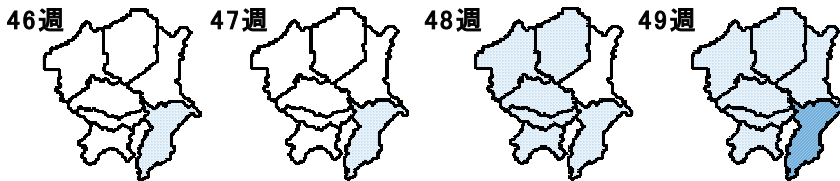
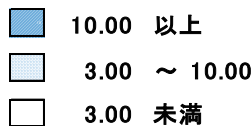
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(6.17)、青森県(4.17)、茨城県(3.77)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。4都道府県から4例報告があり、年齢別では1～4歳(2例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第49週(12月2日～12月8日):通巻第26巻 第49号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、千葉県(13.23)からの報告が多い。

インフルエンザ



2024年 49週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	44,673	14,081	842	426	584	2,543	2,686	3,425
	定点当たり	9.03	9.19	7.02	5.61	6.87	9.74	13.23	8.19
新型コロナウイルス感染症	報告数	15,163	4,184	447	282	390	887	635	719
	定点当たり	3.07	2.73	3.73	3.71	4.59	3.40	3.13	1.72
RSウイルス感染症	報告数	961	266	16	29	30	54	19	66
	定点当たり	0.31	0.28	0.21	0.60	0.57	0.33	0.15	0.25
咽頭結膜熱	報告数	1,244	327	35	9	21	111	24	76
	定点当たり	0.40	0.34	0.47	0.19	0.40	0.68	0.19	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,188	2,646	337	88	80	491	426	759
	定点当たり	2.61	2.74	4.49	1.83	1.51	2.99	3.38	2.88
感染性胃腸炎	報告数	13,677	4,215	205	113	304	794	455	1,372
	定点当たり	4.35	4.37	2.73	2.35	5.74	4.84	3.61	5.20
水痘	報告数	961	351	19	25	16	64	33	94
	定点当たり	0.31	0.36	0.25	0.52	0.30	0.39	0.26	0.36
手足口病	報告数	6,121	2,038	150	163	136	440	332	454
	定点当たり	1.95	2.11	2.00	3.40	2.57	2.68	2.63	1.72
伝染性紅斑	報告数	2,900	2,275	32	75	20	554	281	792
	定点当たり	0.92	2.36	0.43	1.56	0.38	3.38	2.23	3.00
突発性発しん	報告数	806	256	19	23	22	38	19	67
	定点当たり	0.26	0.27	0.25	0.48	0.42	0.23	0.15	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	151	34	1	1	6	12	4	5
	定点当たり	0.05	0.04	0.01	0.02	0.11	0.07	0.03	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	116	54	4	1	1	9	11	12
	定点当たり	0.04	0.06	0.05	0.02	0.02	0.05	0.09	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	17	7	-	-	-	7	-	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.17	-	-
流行性角結膜炎	報告数	496	187	35	11	7	36	25	25
	定点当たり	0.71	0.89	2.06	0.92	0.50	0.86	0.71	0.64
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	2	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	0.11	0.04
無菌性髄膜炎	報告数	19	4	1	1	-	1	-	1
	定点当たり	0.04	0.05	0.08	0.14	-	0.08	-	0.04
マイコプラズマ肺炎	報告数	1,097	253	49	17	22	41	20	81
	定点当たり	2.29	2.91	3.77	2.43	2.44	3.42	2.22	3.24
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	2	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.04

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

埼玉県における 2024/2025 シーズンのインフルエンザ

埼玉県における 2024/2025 シーズンのインフルエンザは、第 46 週（11 月 11～17 日）に定点当たり報告数が 1 を超え流行期に入りました。その後患者数が急増し、定点当たり報告数は第 50 週（12 月 9～15 日）に 19.61 と注意報レベル基準値の 10.0 を超えた後、翌第 51 週（12 月 16～22 日）には 51.06 となり、短期間で警報レベル開始基準値の 30.0 を大きく超えました。

2024/2025 シーズンの始まった 9 月 2 日以降、12 月 24 日までに県市衛研又は市保健所で検出したインフルエンザウイルス 128 件の亜型の内訳は、AH1pdm09 が 121 件、AH3 が 3 件、B ビクトリア系統が 4 件となっており、今シーズンは AH1pdm09 が大部分を占めています（図 1）。

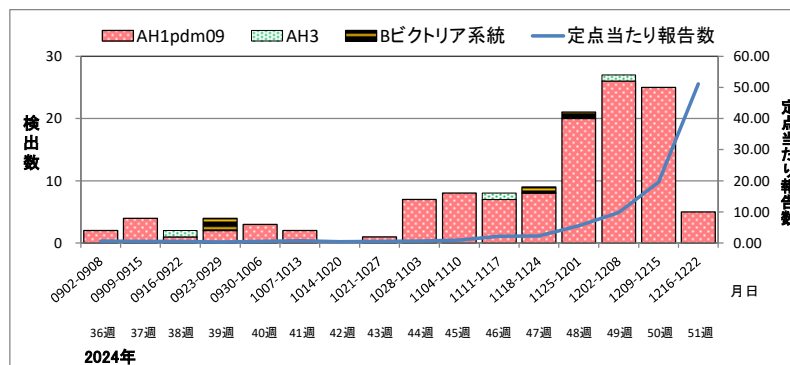


図 1 インフルエンザの定点当たり報告数とウイルス検出状況（2024/2025 シーズン）

今シーズンと同様に AH1pdm09 が優位に検出されていたシーズンは、最近では 2019/2020 のシーズンで、インフルエンザの大きな流行がなかったコロナ禍の 3 シーズンも含めると 5 シーズンぶりとなっています（図 2）。

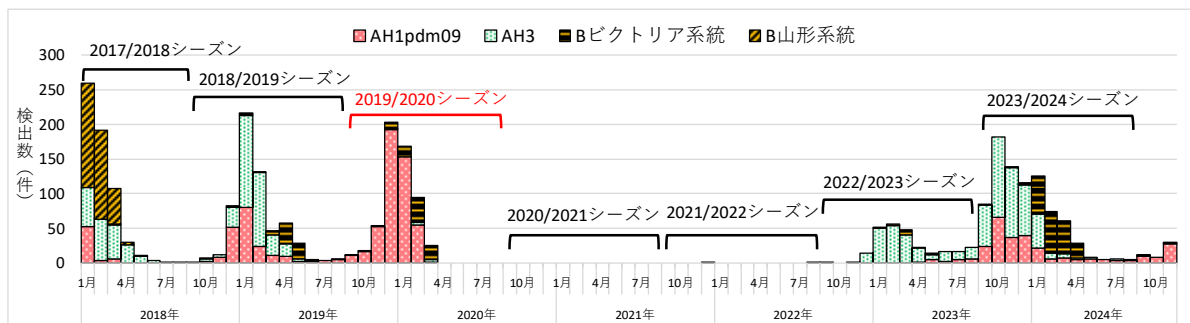


図 2 インフルエンザウイルス検出状況（2017/2018 シーズン～2023/2024 シーズン）

なお、週別、患者年齢階級別のインフルエンザウイルス型別検出数等の詳細は、県感染症情報センターのホームページ（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>）に最新情報を掲載していますのでご覧ください。

感染症発生動向調査
2024年

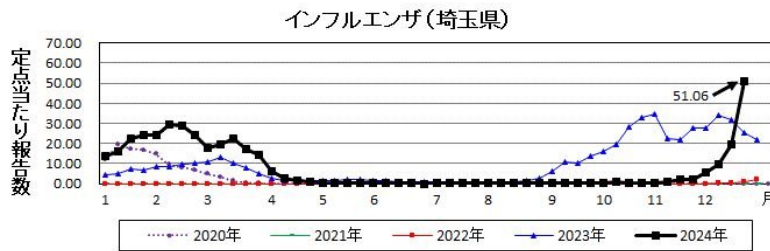
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第51週

2024年第51週（12月16日～12月22日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して急激に増加し、警報レベル開始基準値である30.00を大きく上回りました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

